

トラック 3

あら？

うふふふふふ…♡

どうされたのですか？

もしや、わたくしのお話を聞いて、興奮なさってしまわれたのですか？

あらあら、いけませんよ？

わたくしは貴方様に、

お休みになられる前のお話を語り聞かせて差し上げただけですのに…♡

それなのに、こんなにも股間を膨らませてしまわれるだなんて…♡

わるう〜い王妃様によって国王や英雄が籠絡されてしまったのを聞いて

貴方様も同じように手籠めにされたくなってしまうたのですね…♡

いけませんわ…そんな風にお喜ばれになりますと、

わたくし、貴方様を愛おしく思ってしまう…♡

ですが、王国も滅んだ今となりましては、

わたくしは王妃でもなく、誰かの妻でもございません…

貴方様のものに、して…くださいますか…？

わたくし、本当にただ妻として愛されていただけだったのです…。

お話し聞かせて差し上げたように、わたくしは淫魔です。

男性から精液や愛を受け取るのも、

そう定められた生き物であるからに他ならず…

それに、わたくしは本当に国王陛下のことも、

新国王陛下のことも愛しておりました。

淫魔であるわたくしと、人間であるあの方達との、寿命の長さは異なります。

いずれ死に別れてしまう運命にあるわたくしが、

心から愛した男性から、

せめて共に生きていられる間は寵愛されたいと願うことは、

果たして間違っていることなのでしょうか…？

そして今、わたくしは貴方様にご寵愛受け賜りたく存じます…。

もし…もしも、わたくしを信じ、愛してくださいますならば…

貴方様の妻となって差し上げます…💕

貴方様がわたくしを妻として娶ってくださったあかつきには…

かつての国王陛下たちすら魅了してしまえたわたくしの身体が、

貴方様だけのものとなるのですよ…♡

柔らかく、大きな乳房は貴方様へのご奉仕の為だけに用いましょう♡

その乳房にお顔を挟み込んで、甘い乳の香りを嗅ぎながら

柔らかな感触に溺れたくはありませんか？

性器を乳房で包み込まれ、柔らかな乳肉に圧迫されながら

どろどろお…♡どぴゅどぴゅう…♡と

おっぱいの中にお漏らししたくはありませんか？

天女とも呼ばれ、かつて王妃の地位にあったわたくしを組み伏せ、

大きなお尻に力強く腰をぶつけて…

どくどく…♡びゅるる…♡と、

子種注ぎ込んで子宮を征服したくはありませんか…？

れろおお……んっ♡

いいのですよ…？

貴方様がお望みとあらば、わたくしは…貴方様だけの女となります…♡

わたくしを取り合って戦乱の時代が招かれたこともございますが、

貴方様はただ…望み、願うだけでわたくしを手に入れられるのですよ…💋

いかがでしょうか…？

わたくしを妻として娶どうか…誓いの口付けを交わしてくださいませんか…

ちゅうっ…♡

まあ…♡

まあ、まあ、まあ…♡

本当に、よろしいのですね…？

淫魔であるわたくしを、娶てくださるのですね…♡

嬉しい…♡

お返しに、わたくしからも口付けをさせていただきます…♡

ちゅっ…♡

ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

れろお…♡れろお…♡れろお…♡

ちゅう～～っ♡

舌を伸ばしてくだいませ…♡

れろれろれろれろれろお…♡

お慕い申しております…♡

うふふふふふ…♡

あら♡

もうすっかりとお顔が蕩けてしまわれたご様子ですね♡

ですが…下半身の方はまだまだ硬いまま…♡

わたくしが宥めて差し上げないといけませんね…？

だって、わたくしがあんなお話をしたために、

貴方様はこんなにも強く発情してしまわれたのですものね♡

では…

わたくしの手で、貴方様の性器を包み込んで蕩けさせて差し上げます♡

わたくし…指が長く、しなやかで、手先が器用なものですから、

手で性器を包んで上下にシコ…シコとするだけで、

殿方を骨抜きにして差し上げられるのですよ♡

わたくしの手を一度でも味わってしまいますとね？

他のどんな女性の膣に挿入しても、

射精できないほどになってしまわれるのです♡

国中の女性を…いいえ、近隣諸国まで含めて、

どんな女性でも自分のものにして孕ませることができた新国王陛下でさえ、

わたくしの手に魅了されてしまったために、

わたくしの他にどんな女性も夜伽にお呼びにはならなかったほどなのです…♡

もちろん…わたくしならば、手でも胸でも口でも膣でも…

気持ちよくして差し上げられますから、ご心配なく♡

くすくすくすっ…♡

だって、ええ…♡

わたくしは淫魔…♡

人ならざる魔性の存在ですもの♡

ですからこそ、貴方様にこの世ならざるほどの快楽を与えて差し上げられるのです♡

ああ、でも…そうなりますと、折角口付けで湿らせて差し上げた

お口が寂しくなってしまわれますね？

では…寂しん坊なお口には、おっぱいをしゃぶらせてあげましょうね♡

わたくしの乳房をお吸いになりながら、手での愛撫をお楽しみくださいませ♡

うふふふふふ…♡

太ももを枕にしてさしあげますね♡

やわらかな太ももの感触も、愛撫と一緒に楽しみくださいませ♡

ふふふ♡

いかがですか？

天女とも称され、さる大国の王妃をも務めたわたくしの膝枕は？

ふふ…♡既に幸せそうなお顔…♡

気に入ってくださったようで、わたくしも大変嬉しく思います♡

むっちりとした太ももに頭をお預けになりながら、

どうぞ、わたくしの乳房をお吸いになってくださいませ♡

かつては国一つを滅亡に追い込んでまで時の国王が欲し、

夢中になった乳房でございます♡

きっと、貴方様も虜になっていただけるかと…♡

うふふふふふ…♡

ああ、でも、どうかお気をつけくださいませ♡

わたくしの乳房をお吸いになられると、どれほど立派な殿方でも…

どうしてだか、皆様、赤子のようになってしまわれるのです♡

…いえ♡言葉を間違えてしまいました♡

お気を付け下されませ、ではありませんでしたね♡

一度啜えたら離せなくなり、

どれほどの聖人同然になってしまう

わたくしのおっぱい…お楽しみくださいませ♡

ほおら、あ～ん…♡

あら♡

そんなにも夢中になってわたくしのおっぱいを吸ってしまわれるなんて、
まるで赤子のようにではございせんか♡

とうに成人なされた大人の殿方であるというのに

赤子のようにわたくしの乳房をお吸いになられるなんて、

可愛らしくて可愛らしくてしかたありませんね…♡

そんなにも愛らしいご様子を見せられてしまいますと、

わたくしもいっそう可愛がって差し上げたくなってしまう♡

頭を撫でてあげながら、坊や、とお呼びして、

もう一方の手で、愛撫して差し上げましょう♡

よしよし…♡よしよし…♡

ちゅうちゅう…ちゅうちゅう…とおっぱいをお吸いになっているご様子、
大変愛らしいですよ♡

すっかりそそり立っていらっしゃる性器の方も、可愛がって差し上げましょうね♡

まずは…柔らかなてのひらを先っぽにそっと押し付けて…
長く、しなやかな指を一本ずつ巻き付けて差し上げますと…ほら♡
亀頭をすっかり包み込んで差し上げられるのです♡
では…このまま上下に扱いて差し上げますね♡
どれほどお射精なさっても、全部手で受け止めて差し上げますので、
どうぞ、坊やはおっぱいをお吸いになられながら
安心して快楽に酔いしれていてくださいませ…♡

シコシコ…♡シコシコ…♡
くすくすくすっ…♡
わたくしの手の中で性器がびくりびくりと震えておられる様子、
大変愛らしく思います♡
こんなにも性器を震わせて、露をお漏らしになさるなんて、
わたくしからの愛情と、愛撫での快感を
しっかりと受け取ってくださっているのですね♡

ああ…本当に、本当に嬉しく思います…♡

わたくし、ご寵愛を受け賜るのはもちろん、嬉しく思いますが…
愛を受け取っていただきますのも幸せに思うのです♡
ですから…ええ♡
赤子のようになられて、わたくしの愛をただ受けとりなさっているご様子を見ると、
坊やへの愛情がとめどなく溢れてきてしまうのです♡

シコシコ…♡シコシコ…♡
ふふふ…♡
そうも強く、母乳をねだるようにおっぱいを吸われますと、
もっと魅了して差し上げたくなくなってしまいますよ？
今、坊やがお吸いになっているわたくしのおっぱいは、
脂肪がたっぷり詰まってもっちりとした柔乳なのです♡
この乳房に顔をお沈めになると、
むにゅむにゅ、ふわふわ、と乳肉がお顔を包んで揉んで差し上げられるのです♡
そうすると…甘い乳の香りと柔らかなおっぱいの感触で
男の人は夢心地になってしまわれるのです♡
ふふふっ♡
では、重たくて柔らかいおっぱいで、お顔を優しく潰して差し上げますね♡
はい♡

くすくすくすっ…♡

わたくしの乳房、あんまりにも大きなものですから、

坊やのお顔を隠してしまいました♡

花のように香り高く、酒のように芳醇な、わたくしのおっぱいの香り…

たっぷりとお嗅ぎになってください♡

甘い匂いに酔わされて、心も脳みそも溶かされてしましましょうね♡

そうして、そのまま…

性器を包んで扱って差し上げているわたくしの手感触と

お顔を圧迫して差し上げている乳房の感触と香り、

それだけしかわからない赤ん坊になってしまってくださいね…♡

シコシコ…♡シコシコ…♡

シコシコ…♡シコシコ…♡

おや？

あらあら、まあまあ…♡

性器…いえ、おちんちんが情けなく震えておられますよ？

もう射精なさってしまうのですね♡

くすくすくすっ…♡

でも、ダメですよ、坊や♡

あとほんの少しだけ、わたくしに貴方様を愛させてくださいませ♡

そうですね…

あと 10 秒、あと 10 秒だけ、このまま手で可愛がられていてくださいませ♡

折角、貴方様の妻となって初めて過ごす夜なのですし、

少しでも長くわたくしの手で貴方様の性器を感じていたいのです♡

いつか一人で貴方様を思い出す時に、今夜のことを思い出せるように…♡

では、10 秒数えて差し上げますので…

その間、わたくしの手とおっぱいをお楽しみなさってください♡

じゅ～う…♡

きゅ～う…♡

は～ち…♡

な～な…♡

ろ～く…♡

ご～お…♡

よ～ん…♡

さあ～ん…♡

に～い…♡

い〜ち…♡

はい♡お射精なさってくださいませ♡

うふふふふふ…♡

温かくて濃厚な精液、ありがとうございます♡

折角、手に出していただいたのですから、

このまま舐めとって、しっかり味わわせていただきますね♡

あむ…♡

れろれろれろ……♡

れろ♡れろ♡れろ♡

ちゅうるっ…♡

ごっ……くん…♡

ふう…♡

ごちそうさまでした♡

大変に匂いが強くて味も濃厚で美味しかったですよ♡

ふふふふふ……♡

今夜は、このままずっとおっぱいを吸わせて差し上げますので、

どうぞ、おやすみなさいませ♡

明日はまた、わたくしに貴方様を愛させてくださいませ♡

うふふふふふ…♡